

2017年12月9日・16日（土） 「絵本作家になろう」イベント報告

自分だけの物語を考えて、一冊の絵本を作るイベントを開催しました。

講師は、子どもたちが絵本を作るワークショップ「ぶんぶんの時間」の主宰で、おはなし作家の大谷峯子さん。参加してくれたのは小学1年生から4年生の子どもたちです。

2週に渡り連続2回の開催で、一冊の絵本を完成させました。



自由に思ったことをたくさん書いて欲しい。
ほら、みんなから物語が生まれてくるよ！

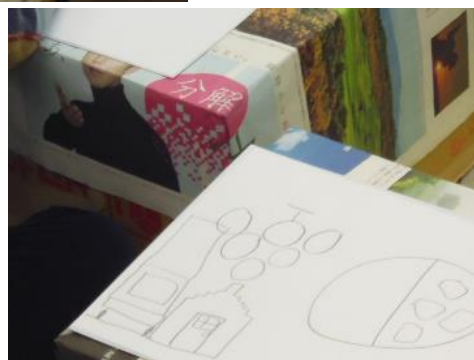
おはなしを書くこと、ってどういうことだろう？
最初に頭を柔らかくするための質問が大谷さんから子どもたちに投げかけられます。

「好きなものは 何？」

「どんなところに 行きたい？」

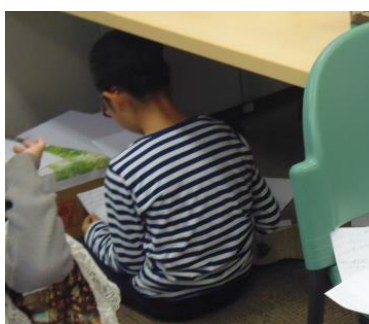
「大人になったら 何をしたい？」

「みんな おはなしが作れるんだよ！」



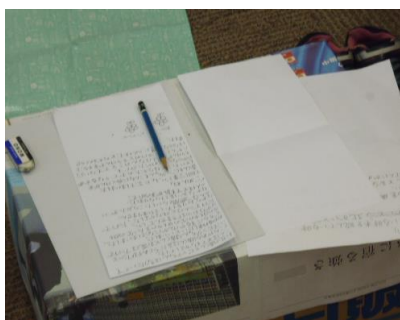
好きなもの…書くより描く方が楽しい子もいます。
思うままに自分の気持ちを表現します。

子どもたちが集中して作業できるようにと、会場もちょっとひと工夫。子どもたちにぴったりのサイズの段ボール机をたくさん用意しました。好きな場所に机を持って行って、夢中でおはなしを考えていましたよ！



大机の下に潜り込んで没頭する子もいました。

会場内には「おはなし探偵事務所」が開設されています。大谷さん扮する「ぶんぶん探偵」が、おはなし作りに迷った子どもたちにアドバイスします。物語が出来たら、絵本にするために「ぶんぶん探偵」と一緒にページ割りをします。絵本ですから、挿絵のページも考えます。



おはなしをどこで区切ろうか？
何ページになるのかな？

今回の絵本は、色画用紙に文字と挿絵を切り貼りして作ります。少し本に厚みを出して、背にタイトルを入れたカバーも掛けて、世界に一冊しかない立派な絵本が出来上がりました！



自分の絵本が出来上がったら、みんな、他の子たちの作品が気になるよう…。「ぶんぶん探偵」が「こんなおはなしが出来たんだよ！」と、紹介してくれました。

みんなおはなしが本当に大好き！お友達のおはなしに感動して涙ぐむ子もいました。



早く絵本が完成した子は、星形のミニ絵本も作りました。



イベントの最後に、児童コーナーの奥の「おはなしの部屋」で朗読会を開きました。お父さん、お母さん、ご家族も一緒に子どもたちの絵本を楽しみました。



「自由な発想や考えを大切にしている
いろんなことを楽しんで！」
それが「ぶんぶん探偵」からのお願い。



来年もまた開催を予定しています！ぜひご参加ください。